

SiNAPIS ニュース

社会活動センター・シナピスは平和を実現する使命に向けて生きる人びとを応援します

No. 63 2021. 8

“すべてのいのちを守ろう”

— 誰も置き去りにしない世界に向けて No one will be left behind —

2021年正義と平和大阪大会テーマ



平和旬間

8月6日～15日

カトリック大阪大司教区 社会活動センター

シナピス



地上でもっとも小さいといわれている種子、それがシナピス(からし種)です。
イエスは神の愛がすべての人におよび、互いに尊重し合い、愛し合うように願って平和の種をまき、
やがて鳥が巣をつくるほどの大きな木になると約束しました。

TEL 06-6942-1784 FAX 06-6920-2203 E-mail sinapis@osaka.catholic.jp

コロナ禍の中、大阪大会迫る！

正義と平和担当 松浦 謙

大会まで4か月を切りました。当初、秋にはコロナ感染も終息しているだろうと期待していましたが、予想に反して今なお厳しい状況が続きます。このため大会の全プログラムを、リモートで開催することに決定しました。正直、残念ではあります。逆に、このような時だからこそ出来ることがある！とポジティブに考えて実行委員会で準備を進めています。その結果、今年の大会の主な特徴は以下のようになります。

その① オンラインのメリットを活かしたもの

インターネットを活用して、遠方や自宅からでも参加が可能です。ただそのような環境がない人、機器や設備を持たない人のためにサポートが必要です。今後の課題です。

その② 「すべてのいのちを守ろう」～分科会で考える

大阪教区内の有志グループだけでなく、札幌や沖縄、他教区からも含めて、約30の分科会の開催申し込みがありました。テーマは死刑廃止 反戦平和 教育 憲法 環境問題 原発 差別と人権 政治 貧困 難民 被災 釜ヶ崎問題等、多岐にわたっています。どれも根本的には、神様に創造された自然とそこに生きるすべての人間のいのちを大切にするためにどうすれば良いか考える内容です。開催要綱・案内パンフを準備しますのでそれを見て関心のあるテーマの分科会にリモートで参加してください。

その③ 学びと祈りと分かち合い

そこで知ったこと、学んだことをどのようにこれからの生き方に活かせるか、信仰の視点から一緒に考えましょう。このため聖書のみことばを聴きます。そしてオンラインを活用してファシリテーター（進行役）のもとに小グループで分かち合います。

その④ 青年・小中高生対象のプログラム

若い人たちや外国人を対象にした集いが別枠で2日目の午前中に企画されます。中高生の部では、カトリック学校の生徒たちが動画などを通して発表します。子どもたち、青年、外国人向け外には、外国にルーツのある人の実際の話聞いてみんなで考える予定です。

その⑤ 情報保障～誰も置き去りにしないため

視覚・聴覚に障害のある方も参加できるような手立てを講じます。手話、要約筆記、点字、キャプションラインなどのインターネット上の技術も活かします。前例がないため、実際ふたを開けてみないと分かりませんが、皆さんの積極的な参加と協力によって実り豊かな大会になることを信じ願っています。

今月のページ

■ ニュースレター 目次 ■

- 1 巻頭言
- 2 シナピスの風
- 3 子どもたちに伝えたい平和
- 4 時報8月号
- 5 教えてください～！！第十六弾！
- 7 シナピスホーム便り/掲示板
- 9 あとがき

■ チラシ・ご案内 ■

- ・シナピスの風（小教区・修道会のみ）
- ・8月の祈り
- ・忘れないあきらめないカレンダー
- ・2021年AOS船員の日メッセージ
- ・第1回「祖父母と高齢者のために世界祈願日」教皇メッセージ
- ・平和旬間会長談話
- ・じんけん SCHOLA
- ・映画の紹介





カトリック正義と平和協議会全国集会 大阪大会 2021.11.22~23
“すべてのいのちを守ろう”
～誰も置き去りにしない世界に向けて No one will be left behind～



地上でもっとも小さいといわれている種子、それがシナピス（からし種）です。イエスは神の愛がすべての人におよび、互いに尊重し合い、愛し合うように願って平和の種をまき、やがて鳥が巣をつくるほどの大きな木になると約束しました。

シナピスの風

第140号 2021年8月8日発行

*行事はコロナ感染症の影響で延期または中止になることがあります。
ご参加の際は連絡先にお問い合わせください。

2021 大阪教区平和旬間共通テーマ

誰も置き去りにしない世界へ



2021 平和旬間 8月6日～15日

私たちは地球という家で暮らす家族です。兄弟姉妹として互いに助け合い、協力して、神から与えられたいのちあふれるこの家を守らなければなりません。だれも排除しない、させないという決意のもと、傷ついた地球の現状を回復させるにとどまらず、積極的に平和を築いていくことが、神の国の実現に近づくのです。特にこの平和旬間は、二度と戦争という過去の過ちを繰り返さないという誓いのもと、具体的な行動に結びつくものとなりますように。

平和旬間とは？

1981年、教皇ヨハネ・パウロ二世は広島で、「過去を振り返ることは、未来に対する責任を担うことである」と述べられました。戦争を振り返り、平和を思うとき、平和は単なる願望ではなく、具体的な行動でなければなりません。そこで日本のカトリック教会は、その翌年、もっとも身近で忘れることのできない、広島や長崎の事実を思い起こすのに適した8月6日から15日までの10日間を「日本カトリック平和旬間」と決めました。

「平和旬間」に広島教区と長崎教区では、全国から司教をはじめとして多くの信徒が集まり、「平和祈願ミサ」がささげられます。各教区でも、平和祈願ミサや平和行進、平和を主題とした映画会、講演会、研修会、平和を求める署名などが行われます。（2021 情報ハンドブックより）

8月の祈り

人類の父である神よ
すべての人々を等しいものとして
創造されたあなたに祈ります。
わたしたちの心に、
本当の兄弟愛を呼び起こしてください。
平和、正義、対話と出会いの
夢を持たせてください。
健全な社会、貧困、暴力、
飢餓、戦争のない世界を
築いていくための知恵と力を
わたしたちにお与えください。アーメン。



教皇フランシスコのツイッター
(2020年10月4日)

シナピスでは、毎月のお祈りをニュースレターとともにお送りしております。教会で、ご家庭で、日々のお祈りにお使いください。シナピスのホームページからも、ダウンロードしていただけます。

正義と平和協議会全国集会大阪大会

大会まであと4か月 オンライン開催！

参加申し込み
8月初旬より受付開始！

◆大会参加申込みパンフレットが出来ました！ご参加ください。
小教区、修道会、各施設、団体へは、8月初旬到着予定
大阪教区ならではの「連携・つながり」を生かし、声をかけあってお申し込みください。
See~Listen~Share~Act! (見て~聴いて~分かちあい~はじめよう！)

大会プログラム

11月22日(月)

- 13:00 オンライン受付開始
- 14:00 開会式とオリエンテーション
- 14:30 分科会開始 ステップ①
- 17:00 祈りの集い(各分科会)ステップ②
- 18:00 オンライン懇親会

11月23日(火・祝)

- 9:00 特別プログラム
(外国にルーツをもつ人・青年・小中高生対象)
- 分科会続き ステップ③
- ステップ④
- 12:00 昼休憩
- 14:00 ミサ (YouTube 配信)
- 16:00 閉会

詳しくはパンフレットをご覧ください、JP 大阪大会事務局のホームページを検索ください。

▶▶ http://www.osaka.catholic.jp/no_side/jptaikai2021.html

パンフレットはシナピスにございます。こちらからもご覧いただけます ▶▶



■大会ボランティア募集

要約筆記、インターネットを使用できない参加希望者に同伴できる方(スマートフォン、PCをお持ちの方) IT・オンラインサポート etc 説明会、研修あり(初心者歓迎)

問合せ(シナピス) ☎06-6942-1784

シナピス工房

好評です！

色とりどりのカードや
マスクチェーンなど



残りわずかなものがあります。
お早目に。まずはお問い合わせください。

食糧支援のお願い コロナ禍で解雇された技能実習生、帰国できずに困っている留学生や短期滞在者が増えています。あわせ調味料、缶詰など、日持ちのする食品などのご支援をお願いします。



感謝



カトリック大阪大司教区 社会活動センター シナピス
Tel 06-6942-1784 Fax 06-6920-2203
URL: <https://sinapis.osaka.catholic.jp/>

「点訳版」「音訳」
ご希望の方はシナピスまで
お申込み下さい。

子どもたちに 伝えたい平和



「米軍が来た堺」

堺教会信徒
眞田 信子

私は、戦中と戦後、堺市北区にある近畿中央呼吸器センターの西側、道路を隔ててもう一本入ったところに住んでいました。戦中、そのあたりには陸軍の駐屯地がありました。父親は着物と帯に模様をほどこす日本刺繍の職人で、私は7人きょうだいの末っ子でした。私の家は駐屯地のすぐ目と鼻の先ですので、出征する兵隊と家族が最後に面会する場所としても開放していました。終戦の時私はやっと4才。焼夷弾が落ちるときの赤い光や、昼間に外で遊んでいたら急に米軍の戦闘機が飛んできて、周りにいた大人に駐屯地と道路の間にあった深い溝に放り込まれたことを、おぼろげながら覚えています。

終戦後、その駐屯地が米軍に接収され、アメリカの軍人たちがやってきました。道路沿いには軍人を相手にした土産物屋やクリーニング店などが立ち並び、賑わっていました。親からは、接収地に近づかないようにと言われました。万が一つかまったら殺されるのか、どこかに連れて行かれるのか、誰にもわからないので怖かったです。特に夕方以降は外に出ないように言われていたのですが、夕方になると集まる日本人に、軍人が宿舍の窓からチューイングガムを投げているのを見ることがあります。私の家は父親の職業柄、軍人が階級章を刺繍してくれと言いにきたりしたこともあり、比較的よくしてもらったと聞いています。しかし軍人が「女を出せ」と近隣を回る時にはうちにも来ますので、父親はいつも年頃の姉たちを家の奥にいさせて表からは見えないようにしていました。大みそかにお正月用の着物を枕元に置いて家族が寝ていたとき、軍人が勝手に家に入り、着物をごっそり盗っていったこともありました。でも敗戦国なので何も言えません。すべて泣き寝入りです。何せ今とは違って情報がないので、米軍がいつまでいるのかもわからないし、なじんでいかないと仕方がないと思っていました。戦争はいけません。子どもたちも知らない間に巻き込まれていきます。

私は、様々な経験を積み、考えてきたなかで、殺されてもイヤなものはイヤと言わなくてはならないと思うようになりました。そして人権にかかわる活動に若いころから長年かかわってきました。自分の置かれた場所で、できる範囲で「知る」ことから始めることが大切です。一つひとつ誰かに言わなくても、自分が納得して生きていきたいと思っています。

イエスにならう生き方を求めて

悩みを持つ人々の痛みに寄り添い、
その悩みを少しでも分かち合うことのできる、
教会共同体をめざして

日本カトリック司教団著「いのちへのまなざし」
増補新版より

大会参加申込みパンフができました！

大会まであと4か月

大阪教区ならではの「連携・つながり」を生かし、声をかけあってお申し込みください。

オンライン開催！

| | |
|--------------------------------|------------------------|
| 13:00 オンライン受付開始 | 9:00 特別プログラム |
| 14:00 開会式とオリエンテーション | (外国にルーツをもつ人・青年・小中高生対象) |
| 14:30 分科会開始 ステップ① | 分科会続き ステップ③ |
| 17:00 祈りの集い(各分科会) ステップ② | ステップ④ |
| 18:00 オンライン懇親会 | 12:00 昼休憩 |
| | 14:00 ミサ (YouTube 配信) |
| | 16:00 閉会 |

参加したいけど、PC操作がわからない、
場所がない方、ご相談ください。

See~Listen~Share~Act!

見て 聴いて 分かちあい はじめよう

大会運営のための協力金のお願い
全国規模の大会のため、経費がかかります。ご協力をお願いいたします。
一口1000円
郵便振替 加入者名：カトリック大阪大司教区 番号：00910-2-17639

■大会ボランティア募集

要約筆記、インターネットを使用できない参加希望者に同伴できる方(スマートフォン、
PCをお持ちの方)IT・オンラインサポート etc
説明会、研修あり(初心者歓迎)

申込など詳しくは JP 大阪大会事務局ページをご覧ください。⇒



http://www.osaka.catholic.jp/no_side/jptaikai2021.html ☎06-6942-1784



「エコジカルな回心」とは？

コロナでさらに困窮するこどもと親

貧困家庭のこどもを支援する NPO 法人キッズドアが今年 6 月から 7 月にかけて実施した、サポートしている子育て中の困窮世帯を対象とした調査（対象約 2400 件、回答数 1469 件）によると、コロナ禍による失業や転職で、2020 年度よりさらにそれぞれの家庭が困難を抱えつつある現状が見えてきました。一人親だけでなく二人親も同様に困窮し、こどもたちに十分な食料品が買えない、こどもの進路を変えざるを得ない、常に疲れを感じるなど、親とこどもの両方に深刻な影響が報告されています。

コロナ禍による影響（アンケート結果（すべて複数回答可）より一部抜粋）

減収と失業・・・

- 2020 年時点で年収 200 万円未満の家庭が 6 割以上、2021 年度はさらに減収見込み
- 二人親家庭でも約半数が年収 300 万円未満
- コロナ禍で失業、転職を経験している家庭が 3 割以上

保護者の体調への影響

- 常に疲れを感じる（82%）
- よく眠れないことがある（53%）

コロナ以前と比較した食事の量や質の変化

- より安いおかずにするようになった（72%）
- 質（栄養バランス）が悪くなった（56%）
- 量が減った（47%）
- 回数が減った（23%）
- 食事をスナック菓子等のおやつで代替することが増えた（17%）

こどもの進路への影響

- 希望する進路に進めない可能性がある（40%）
- 進路を変更しなければならなかった（6%）



働いても働いてもこどもにお腹いっぱい食べさせられない、こどもが将来を考えることができない、自分も疲れ果てた…、もう限界。

私たちにできること

NPO 法人キッズドア HP 内「2021 年夏緊急提言に向けたアンケート結果について」より

「たぶん、私たちはもっと優しくひとと関わることができる」

シナピスともご縁のあるシンママ大阪応援団では、毎月月末にお米や食料、手作りケーキ、日用品等を詰め込んだ「スペシャルボックス」を一人親家庭に送っています。そして孤立しがちな親子が集うことのできる場所を作り、温かい食事をふるまっているそうです。代表の寺内順子さんが次のように語っています。

「とりあえず、一緒にご飯を食べようと声をかけることのできる場が増えることは、今、私たちのおかれている場を可視化し、軋みをあげるシステムに抗う、抵抗の場を作り出す意味を持ちます。」

（「シンママ大阪応援団・Zikka のごはんレシピ集『大丈夫？』より『ごはん食べよう！』言葉はなくても伝わるものがある」より）

ホームページ: <https://shinmama-osaka.com/>

シナピスこども基金

シナピスでも、キリストの福音に基づき、傷つきやすいこどもの命、生活、教育、人権などを守り、回復しようとするグループや団体の取り組みを支援しています。

随時募集していますので、小さいけれども大切な取り組みなのに資金が足りないというグループや団体がありましたら、ぜひご連絡ください。

☎ 06-6942-1784
✉ sinapis@osaka.catholic.jp





みなさんがご存じのことを教えてください

たとえばこんなこと

1. 環境のためにしていること、昔から言い伝えられている知恵

2. あなたにとって、「すべてのいのちを守る」とは？

☆お名前またはニックネーム _____

☆連絡先（メールアドレスや電話番号など）

☆投稿方法 FAX : 06-6920-2203 / メール : sinapis@osaka.catholic.jp

QR コード*

*QRコードの読み込みには、スマートフォンなどでQRコードリーダーをダウンロード
することが必要です。



シナピスホーム便り



こんにちは!うだるような暑さや激しい雨の中、シナピスカフェには何人もの方が訪れてくれました。

カフェを開きつつ、「おとしり食堂」開始に向けて、引き続き難民移住者のメンバーとスタッフが試食づくりに励んでいます。

山田直保子



雨宿りにどうぞ

【7月7日】

一日豪雨でした。外を見ていてもあまり人が歩いていないような状況で、今日は誰も来ないねと諦めていました。15時過ぎ、ふと玄関を見ると、カッパ姿で自転車に乗りながら外の看板を見ている女性がいたので、慌てて声をかけました。初めは「いえいえ大丈夫です」と断られましたが、「ぜひぜひ大雨ですし、雨宿りして行って下さい。温かい飲み物もありますし」と声をかけると、「そーお?」と傘をたたみ中に入ってくださいました。カッパをハンガーにかけて乾かしておきました。

梅昆布茶を注文されて、一息入れながらしばらくお話をしたところ、この方はそろばんを教えている先生で、大雨なので少しでも近道をと路地に入ったところ、看板と建物の十字架が目に入ったとのこと。ここにいる外国人は難民申請者で…とカフェのことを説明しました。

テーブルクロス作りをしていた女性たちや、他の作業をしていた男性たちも集まり、そろばんの話に花が咲きました。イランでは8歳までそろばんを学校で習うことを聞き、とても感動されていました。移住者の一人が、そろばんですべて計算しているタバコ屋のおばあちゃんがいたので、電卓のほうが早いよと言ったら、こっちの方が早いとあっという間に計算したことに驚いた話をしてくれて、お客様も嬉しそうにされていました。地域のことも教えていただきました。



【7月14日】

一日大雨で、カフェ開催時間の13時頃は、雷が鳴りやヒョウが降るような超悪天候。



この日はご近所さんに加え、地域の福祉関係の方、テレビでの報道を見て知ったという方などたくさんのお客様がきてくださいました。キッチンは今までない人数で大パニック!アイスコーヒーがアイスカフェオレになっていたり、ホットがアイスになったり。人はパニックになると本性が出るとは本当です。コーヒーをこぼしてしまう人や、パニックになることなく冷静にマイペースでゆっくりと動く人。イライラして当たり散らし、なだめられる私。でも大人数の来客は本当に勉強になりました。今後に生かしたいと思います。食べ物のご寄付をたくさん持ってきてくださった方もいて、みんなでお礼をしました。今回はブラジル出身の男性手作りのミルクプリンをお出ししたところ(ココナッツ入り)、みなさん絶賛でとても喜ばれ、作った本人もとても嬉しそうでした。

シナピス工房もやっています！

【7月21日】

カンカン照りの暑い日。開催時間の13時には周りは誰も歩いていないような暑さ。そんな中、汗だくで、先週来てくれた地域の方が、お友達を連れて再度来てくださいました。

デザートは、スリランカ出身の女性特製の「サウ」。サウはヤシの木の樹脂を固めたものだそうで、体内の熱を冷ます効果があり、ヘルペスやおできなどを鎮める効果もあるとのこと。タピオカを極小にしたような白いもちもちした物でココナッツミルクの中に入れて少しとろみのついたデザートです。カシューナッツ入りです。皆さん一瞬で完食。「食べたことないけど、うまいっ！」「美味しい！」と喜んでくれました。難民移住者も着席し、みんなで登山の話や食べ物の話で盛り上がりました。テーブルクロスやランチョンマットが手作りなのにも感動されている様子でした。一人の方が持っているトートバックを見せながら、「この生地、韓国にしかないんだけどこの生地を持ってきたら、こういう鞆つくれますか？」と聞かれ、ニーズがあり作れるものなら「頑張って作るよ！」と女性たちは嬉しそうに答えていました。



テーブルクロスにほどこされたヨーヨーキルトも一つひとつ作って縫い付けました。

【7月28日】

先週来てくれた方が寄ってくださいました。先週チャプチェのおみやげを頂いてとても美味しかったため、丁寧に礼を言いました。アイスカフェオレと、たまたま沖縄の方からご寄付いただいたパイナップルがあったのでお出ししたところ、パイナップルの甘さ美味しさに絶句、「スーパーで買うのと全然違う！」と感動されていました。オリンピックの話になり、テレビをつけたらちょうど野球をしていたので、見ながらみんなでスポーツの話になって、誰がどんな競技をしていたか話しました。スイカや、ペルー出身の女性手作りのスイーツも完食してくださいました。このところ暑さで食欲がなく、今日カフェで出されるのも食べられるかなと心配していたそうですが、「心配ご無用でした」と笑っておられました。

こんな感じで、ホームでは毎週、汗をかきながらも暑い中来てくださったお客様をもてなそうと、カフェなどやったことのない難民移住者のみなさんが試行錯誤しながら、お客様の笑顔が見たいという一心で頑張ってくれています。必要とされる喜び。ホームは、国から必要ないとされた苦しみを経験した人たちだからこそその優しさに包まれています。ぜひ一度、そんな日常を見に来てくださいね。



けいじばん

コロナワクチン接種手続き お手伝いします

外国出身の仮放免の方で、まだ接種券が届いていない、接種できるかどうかわからない、窓口で電話したけれどよくわからなかった、という方が身近にいらしたら、シナピスまでお電話ください。窓口への問合せをお手伝いします。



THANK YOU ご寄付のお願い

お願いしたいもの

- 甘い菓子・ナッツ類
- 缶詰・合わせ調味料
- レトルト食品
- インスタントラーメン
- 男性下着

受け取れないもの

- ✕賞味期限の切れた食べ物
- ✕生もの
- ✕汚れの著しい服や下着



掲示板には、メール、FAX、または右のQRコードからご投稿ください。

☆電話番号：06-6942-1784

☆FAX番号：06-6920-2203

☆メール：sinapis@osaka.catholic.jp



声を届けよう!

ミャンマーの人々のいのちを守ってください



シナピスにハガキあります。

ミャンマーの人々のいのちを守り、人道的配慮がなされるように、引き続き働きかけてまいりましょう。
教皇フランシスコの祈り

ミャンマーの司教たちとともに訴えます。

人道回廊を設置し、教会、仏塔、修道院、モスク、寺院、学校、そして病院を、避難のための中立地帯として尊重してください。

キリストのみこころがすべての人のこころに触れて、

ミャンマーに平和がもたらされますように

「2021年6月22日ツイッター 教皇フランシスコ」(邦訳)より

活動へのご支援ご協力 よろしくお願いたします。

郵便振替 00960-7-61419

加入者名 カトリック大阪大司教区シナピス

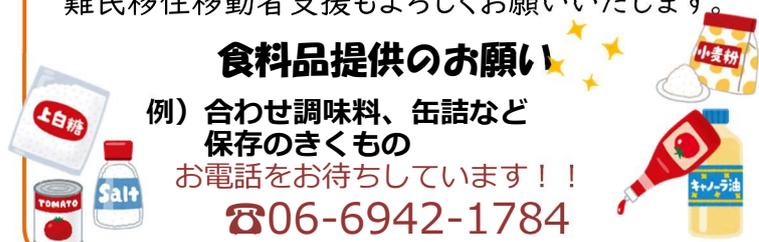
難民移住移動者支援もよろしくお願いたします。

食料品提供のお願い

例) 合わせ調味料、缶詰など
保存のきくもの

お電話をお待ちしています!!

☎06-6942-1784



◆ HP はただいまリニューアル作業中です。
再開まで今しばらくお待ちください。

あとがき

緊急事態宣言発出を受け、ミサも平和句間行事も中止に追い込まれる事態。昨年は戸惑いながらも工夫を凝らし、例年と変わらない規模で平和を考え祈る時間を過ごしました。どんな状況にあっても諦めさえしなければ道はひらけると確信しました。今年も様々なアイデアが生まれ、準備を進めてきたところ、このタイミングで宣言の発出。落胆の声が漏れ聞こえます。それでも、「オンラインに切り替えて学習会を開催しよう!」「9月に企画しよう!」「家でできる『平和日記』を呼びかけよう!」など、集えずともできることがあるやん!!との皆さんの声に励まされ、思いを新たにしています。コロナ禍の陰で、戦争はひたひたと近づいています。コロナ禍はそれを見えなくしています。ウイルスの脅威と向き合うということで、とんでもないことが起きていても気づかない。私たちがあざ笑うかのように、いのちが人為的に脅かされる事態へ舵が切られていることに気づき、声をあげなければなりません。

本紙の「子どもたちに伝えたい平和」で語られている真田さんの最後の言葉が胸に突き刺さります。「殺されても嫌なもの嫌といわなければならない」(H)

▽▲▽ シナピスの主な活動 ▽▲▽

◆ 広報活動

- ・ 教皇メッセージ、司教団メッセージ等 社会活動の指針の伝達
- ・ 読者と教会内外の社会活動をつなぐ 機関誌としてシナピスニュースを発行

◆ 大阪教区・社会活動委員会との連携

◆ 学習会研修会の企画

◆ こども基金

世界・日本のこどもたちへの援助

◆ カトリック中央協議会との連携

正義と平和協議会、難民移住移動者委員会、カリタス、部落差別人権委員会に委員を派遣

◆ 人権教育の講師を務めるなど教育機関への働きかけ

◆ 難民移住移動者支援

難民移住移動者の暮らしやすい社会を目指して

難民移住移動者 相談ダイヤル

☎ 06-6941-4999

アクセス

〒540-0004 大阪市中央区玉造 2-24-22
カトリック大阪大司教区事務局内



公共交通機関ご利用の場合

- JR 森ノ宮駅より 約 1000m
 - 地下鉄中央線森ノ宮 2 番出口より 約 800m
 - JR 玉造駅より 約 1000m
 - 地下鉄鶴見緑地線玉造 1 番出口より 約 800m
- 車でお越しの場合
阪神高速 1 3号東大阪線法円坂出口
法円坂交差点南へ上町を東へ

活動へのご支援ご協力をおねがいたします

郵便振替 00960-7-61419

加入者名 カトリック大阪大司教区シナピス



忘れない あきらめないカレンダー

どんな状況下でも、忘れず、あきらめず、希望をもって歩む皆さまに、情報を配信します。



2021年8月の案内

★印 カトリック関係

2021年 祈禱の信徒 祈りの意向 8月

福音宣教の意向： 教会

教会のために祈りましょう。福音の光の中で自らを刷新する恵みと力を、聖霊からいただくことができますように。

日本の教会の意向： 平和の実現

教皇の呼びかけに応じて、各国の指導者たち、そして私たちが、戦争のための武器を捨て、世界の平和と安定のために尽くすことができますように。

新型コロナウイルス感染症の影響で中止される場合があります。事前に各主催者へお問い合わせください。

8月6日～15日 日本カトリック平和旬間

| | | |
|----|---|---|
| 9 | 月 | 世界の先住民の国際デー |
| 12 | 木 | <p>国際青少年デー</p> <p>12日～15日</p> <p>●子どもたちと考える 戦争と平和展in高槻・島本2021 9:30～19:00(最終日は17:00まで)</p> <p>■場所:高槻市立生涯学習センター1階展示ホール 入場無料</p> <p>主催:子どもたちと考える「戦争と平和」展in高槻・島本2021実行委員会 ☎:080-3818-7042</p> |
| 14 | 土 | <p><予定通り開催></p> <p>●ドキュメンタリー映画『私はチョソンサラムです』</p> <p>①10:00～11:40 ②12:30～14:10 ③15:00～16:40 ④17:30～19:10 開場は上映開始時刻の20分前</p> <p>■場所:東成区民センター 前売り:1000円 当日:1500円(高校生以下無料)</p> <p>お問合せ:『私はチョソンサラムです』大阪実行委員会 ☎:06(6711)6377 Email:osaka@korea-htr.org</p> |
| 15 | 日 | <p>●「8月15日」を考える 滋賀・京都集会 14:30～17:00(14時より受付)</p> <p>■場所:解放県民センター4階大ホール</p> <p>講師:辻子実さん「侵略神社ー靖国思想を問う」 参加費:800円</p> <p>共催:敗戦記念日を覚え、平和を求める集い(しが)実行委員会 連絡先:090-8821-5367(木戸)</p> <p>「8・15」を問い続ける京都集会実行委員会 連絡先:090-5166-1251(寺田)</p> <p><予定通り開催></p> <p>●8.15天皇の沖縄処分と琉球弧の軍事要塞化 13:30～16:30</p> <p>■場所:エルおおさか・708号室 講師:木元茂夫さん(すべての基地にNOを!ファイト神奈川)</p> <p>資料代:800円(経済的に厳しい方は受付まで)</p> <p>主催:参戦と天皇制に反対する連続行動 関西単一労働組合 ☎/FAX:06-6303-0449</p> |
| 19 | 木 | 世界人道デー |
| 21 | 土 | <p>テロ被害者想起と追悼の国際デー</p> <p>●子どもたちと考える 戦争と平和展in高槻・島本2021 特別企画 証言「敗戦間近の私たち」 14:00～16:00</p> <p>■場所:高槻現代劇場文化ホール2F展示室(先着100名)</p> <p>『学徒勤労動員でタチソへ』話し手:梅田和子さん(90歳、高槻市在住)</p> <p>『磐手国民学校での勤労奉仕』話し手:野口里子さん(87歳、高槻市在住)</p> <p>入場無料 主催:子どもたちと考える「戦争と平和」展in高槻・島本2021実行委員会 ☎:080-3818-7042</p> <p>●子ども脱被ばく裁判 控訴審に向けての学習会 17:00～19:30</p> <p>■場所:市民交流センタークロスパル視聴覚室(JR高槻すぐ)</p> <p>講師:井戸謙一弁護士 資料代:500円</p> <p>主催:「子ども脱被ばく裁判」を支える会・西日本/人権平和高槻市民交流会アス・ネット 連絡先:hasekumi@helen.ocn.ne.jp</p> |
| 22 | 日 | <p>宗教および信条に基づく暴力行為の犠牲者を記念する国際デー</p> <p>●遺骨眠る土砂を辺野古に使わせない! STOP!辺野古新基地建設!大阪アクション7周年集会 13:30開場、14:00開始</p> <p>■場所:PLP会館5階会議室 講師:具志堅隆松さん(沖縄戦遺骨収集ボランティア「ガマフヤー」代表)</p> <p>入場料:800円(学生:300円) 集会終了後17:00からデモあり ZOOM参加あり(3日前までにstophenokosaka@gmail.comにメールください。)</p> <p>主催:Stop!辺野古新基地建設!大阪アクション 問合せ:市民共同オフィスSORA ☎:06-7777-4935 FAX:06-7777-4925</p> |
| 23 | 月 | 奴隷貿易とその廃止を記念する国際デー [UNESCO] |
| 29 | 日 | 核実験に反対する国際デー |
| 30 | 月 | 強制失踪の被害者のための国際デー |
| 4 | 土 | <p>●子どもたちと考える 戦争と平和展in高槻・島本2021 特別企画 証言「戦時中の学校生活ー大阪大空襲の体験と集団疎開」</p> <p>14:00～16:00 ■場所:高槻現代劇場文化ホール2F展示室(先着100名) 入場無料</p> <p>話し手:辻和子さん(87歳、高槻市在住)</p> <p>主催:子どもたちと考える「戦争と平和」展in高槻・島本2021実行委員会 ☎:080-3818-7042</p> |